财用法人伊藤記念财团保存版100-08

Metheriners an

把动动动动用

1te

昭和58年度

原料肉のボツリヌス菌 汚染の実態

大阪府立大学農学部

阪口玄二

財 団 法 人 伊 藤 記 念 財 団

© The Ito Foundation

目	次

序	論	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
材料と方	法	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
結	果	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
考察およ	びま	と	X	>	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
文	献	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	11
使用培養	基お	よ	υ	言	₹₹	Į		•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	13
附	表(1	~	3	8)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15

原料肉のボツリヌス菌汚染の実態

大阪府立大学農学部

教授阪口玄二

(昭和59年9月10日)

I. 序論

ボツリヌス中毒は、ボツリヌス菌(Clostridium botulinum)が嫌気的条件下で食品 中で増殖して産生した易熱性の神経毒(ボツリヌス毒素)の経口摂取でおこる急性食 中毒である。ボツリヌス中毒はヒトだけではなく、種々の哺乳類、鳥類、魚類が罹患 する。ボツリヌス毒素は高分子の蛋白であり、毒素・抗毒素中和反応により7型に分 類され、A型からG型までが知られている。ヒトのボツリヌス中毒はA、B、Eおよ びF型毒素による例が多く、動物の中毒はC型およびD型毒素による例が多い。

ボツリヌス菌は抵抗性の強い芽胞の型で土壌、その他の自然環境に広く分布し、容 易に食品原料を汚染する。ボツリヌス中毒は希な病気であるが、一度発生すると、そ の致命率は25~100%にも達するので、食中毒の中で特に重要視され、恐れられている。

近年の食品工業の発達や、消費者の要求の変化(低塩、無添加食品の要求)により ボツリヌス中毒発生の危険はむしろ増大していると思われる。今日、食品の製造は以 前とは比べものにならない程の大きな規模で行われ、より多くの貯蔵食品、あるいは すぐに食べられる半調理や調理済みの食品、添加物を含まず食塩含量の低い"自然食 品"、あるいは遠隔の地で製造される珍しい食品の需要は増えるばかりである。単に 数個のボツリヌス菌芽胞の摂取は、健康な成人には無害であるが、食品衛生の見地か らは、食品中に一個でもボツリヌス菌芽胞の存在を許容することは出来ない。何故な ら、若しその様な食品が、適当な温度で適当な期間貯蔵され、加熱調理されることな く摂食されると悲惨な結果を招く可能性があるからである。今回の委託事業の目的 は: 1. 肉製品原料である冷凍食肉(牛肉、豚肉、馬肉、羊肉、兎肉)および冷凍スケ ソウタラすり身、および市販食肉中のボツリヌス菌芽胞分布実態を調査する。

2. 食肉中のボツリヌス菌芽胞の検出方法を評価する。

Ⅱ. 材料と方法

1. 検査材料

昭和58年8月から59年7月までの期間、定期的に某食肉加工メーカーの食肉製 品原料の国産および輸入冷凍肉(スケソウタラすり身を含む)を解凍し検査に供した。 また、国内の食肉処理場、デパート、スーパー、小売店、食肉加工メーカーから、不 定期的に食肉検体を採取あるいは購入し、検査に供した。

検査材料の内訳は牛肉95検体、豚肉 168検体、馬肉87検体、兎肉59検体、羊肉90検 体、スケソウタラすり身51検体、鶏肉20検体、合計 570検体であった。 定期的検査の1回の検体数は、原則として16とし、毎週1回木曜日に試料を調整し、 金曜日に試験を開始した。

2. 試料の調整

解凍した生肉は、滅菌ナイフを用い、各検査材料から約80gの検体を採取した。検体をなるべく細かく切り、40gづつをストマッカー用プラスチック袋に採り、それぞれ等量の滅菌燐酸ペプトン緩衝液A*およびB*を加え、ストマッカー(Colworth Hodel 400, Seward Co. Ltd., Suffolk, England)を用いて約1分間磨砕した。

3. 加熱処理

燐酸ペプトン緩衝液AおよびBを加えて磨砕した検体(それぞれ試料A、試料Bと 略す)は、それぞれ約20mlづつを、滅菌ガラス棒を用いて2本の滅菌中試験管に分 注した。試料A、試料B各1本づつは、60℃に調節したオイル・バスで15分間加熱処 理し、他の1本づつは、同様に80℃で15分間加熱処理し急冷した。

4. 培養条件

試料A、試料Bは何れも室温触媒とともに嫌気ジャー(0xoid 製,内容約 3リット ル)に収め、真空ポンプを用いて600 mm Hg を脱気し、水素ガスを755 mm Hg まで注 入し、30℃の孵卵器内で 7日間培養し、ボツリヌス毒素の試験に供した。

5. ボツリヌス毒素の試験

7日間培養した各試料の約4 mlを遠心管に取り、毎分3,000 回転15分間遠心し、上 清 0.5 ml を、 2.0 ml のゼラチン希釈液* と混合して 5倍希釈液を作り、その 0.5 mlを17~22 gのマウスの腹腔内に注射し、4日間特異症状および生死を観察した。

6. ボツリヌス毒素の型別

培養後の試料を注射したマウスが発症し、死亡した場合には、ボツリヌス抗毒素血 清を用いて中和反応を実施した。

先づ多価抗毒素血清(A、B、C、E、F型各 1国際単位/ml 、D型のみ10国際単 位/ml) 0.25 mlをマウスの腹腔内に注射し、30分~ 3時間後に試料の遠心上清 0.5 mlづつを、抗毒素注射で防御されたマウスと、防御されないマウスの腹腔内に注射し、 4日間生死を観察した。抗毒素注射で防御されたマウスが発症せず、抗毒素で防御さ れないマウスのみが死亡した場合にボツリヌス毒素陽性とした。両者共に死亡した場 合には、試料上清を適宜希釈して中和試験を繰返した。

ボツリヌス毒素陽性と判定された場合には、各型の抗毒素血清(D型のみは10国際 単位/ml、他の型は 1.0国際単位/ml) 0.25 mlづつを別々のマウスの腹腔内に注射し、 30分~ 3時間後に、試料の遠心上清 0.5 ml づつを、各型抗毒素で防御された各マウ スと、抗毒素で防御されないマウスの腹腔内に注射した。6型の抗毒素をそれぞれ注 射したマウスのうち、1型の抗毒素で防御されたマウスのみ生存し、他の型の抗毒素 を注射されたマウスと、防御されないマウスがすべて死亡した時、生存マウスに注射 した抗毒素の型をもって、試料中のボツリヌス毒素の型と同定した。

7. ボツリヌス菌の分離

培養液の毒素力価が高い場合には、ボツリヌス菌の分離を試みた。培養液中の毒素 がC型と同定された場合には、強化クックト・ミート培地*、毒素がB型と同定され た場合は、ブドウ糖加クックト・ミート培地*に、試料1エーゼを接種し、接種後の 培地を80℃15分間加熱処理し、嫌気ジャーを用いて37℃2日間増菌培養し、培養上清 を5倍希釈し、その0.5 mlをマウスの腹腔内に注射して毒力を調べた後、卵黄加G AM寒天平板*に塗抹、37℃2日嫌気培養し、疑わしい集落(真珠様光沢層のあるも の)を釣菌して、それぞれの増菌培地に接種し、嫌気ジヤーを用い、37℃2日培養し、 各培養上清の毒素の定量と、型特異抗毒素を用いて中和反応を行った。

8. A、B、C、E型ボツリヌス菌芽胞懸濁液

A型ボツリヌス菌 A62株、B型0kra株、C型 205-1株、E型 German sprats株それ ぞれを、トリプチケース・ペプトン培地* に接種し、37℃ 2~ 5日間嫌気的に培養し、 暗視野顕微鏡を用いて芽胞数を測定した。培養液を遠心して芽胞を集め、培養液の量 の1/10量の滅菌蒸溜水に再浮遊し、5 ml容のワクチンびんに分注して -20℃で保存し た。芽胞数(CFU) は、芽胞懸濁液を蒸溜水で10倍階段希釈し、各希釈液を 0.5 ml づ つ2枚の滅菌パウチ(直径9 cm)に入れ、溶解し45~50℃に保った 0.4% 卵黄加GA M寒天培地15 ml を加えてよく混和して固めて平板とし、パウチをシールし、37℃24 ~48時間培養し、生じた集落を卵黄反応を指標として計数し、懸濁液1 ml中の生芽胞 数(CFU) とした。

9. 芽胞懸濁液の希釈

滅菌蒸溜水を用い、A、B、C、E各型芽胞懸濁液を生芽胞濃度10,000/ml になる よう希釈し、さらに1,000/ml、100/ml、および10/ml になるように階段希釈した。

10. 試料へのボツリヌス菌芽胞の接種

ストマッカーで磨砕した試料(A型、B型芽胞には、ブドウ糖を含まない燐酸ペプ トン緩衝液Aを、C型、E型芽胞には、ブドウ糖加燐酸ペプトン緩衝液Bを用いた) 約10 ml ずつを滅菌試験管に分注し、これに、階段希釈した芽胞懸濁液 1.0 ml づつ を加え、よく混和し、芽胞の最終濃度が、1 ml当り 1,000、 100、10、および 1個に なるように各濃度の芽胞懸濁液を接種した試料の半数は60℃15分、他の半数は80℃15 分、オイルバスで加熱し、急冷した後、嫌気ジャーに収め、30℃ 7日間培養した。

11. 毒力試験

各培養液は,食肉の試料と同様の方法で遠心して上清をとり、5倍希釈して、その 0.1 ml をマウス尾静脈内に注射し、致死時間を求めた。各型毒素の致死時間と毒力 との標準曲線から、マウスip LD 50/ml を求めた。

Ⅲ. 結果

1. 食肉およびスケソウタラすり身のマウス致死毒産生陽性率

570検体中、いずれかの培養方法でマウス致死毒が証明されたものは、合計43検体 (7.5%)みられた。牛肉は 6検体(14.0%) 、豚肉は18検体(41.9%) 、羊肉は 4検体(9.3 %)、馬肉は 5検体(12.5%) 、兎肉は 7検体(16.3%) 、スケソウタラすり身は 3検体 (7.0%)であった。

マウス致死毒産生陽性43検体中18検体(41.9%)からボツリヌス毒素が検出されており、残りの25検体のマウス致死毒の同定は実施しなかったが、検体No.292(馬肉)とNO.334(兎肉)から破傷風菌(Clostridium tetani)が分離された(表1)。

2. ボツリヌス菌検出陽性率

570検体中18検体(3.2%)にボツリヌス毒素が検出された。18検体の内訳は、牛肉 3 検体(牛肉検体の3.2%)、豚肉 6検体(3.6%)、馬肉1検体(1.1%)、兎肉 3検体(5.1%)、 羊肉2検体(2.9%)、スケソウタラすり身 3検体(5.9%)であり、汚染率は、兎肉が最も 高く、豚肉がこれに次ぎ、また馬肉が最も低く、羊肉がこれに次いで低かった。

検出されたボツリヌス毒素は、2検体(スケソウタラすり身)が型別不能(抗C、 抗D両抗毒素で中和された)であったが、13検体(全検体の 2.3%)はC型、3検体 (0.53%)はB型であった。C型菌が検出された13検体の内訳は、牛肉3検体、豚肉3 検体、馬肉1検体、兎肉3検体、羊肉1検体、スケソウタラすり身2検体、C型菌が 検出された13検体の中3検体は国内産、10検体は輸入肉であった。B型菌が検出され た3検体は何れも豚肉であり、アメリカ合衆国産1検体、デンマーク産1検体、ノル ウエー産1検体であった(表2)。鶏肉にはボツリヌス菌の検出された検体は一つも なかった。ボツリヌス菌は定期的に検体採取した同一メーカーの検体のみから検出さ れた。

3. 検出方法と検出率との関係

燐酸ペプトン緩衝液Aを用いる方法で検出されたC型毒素は10検体、B型毒素は1 検体で、燐酸ペプトン緩衝液Bを用いる方法で検出されたC型毒素は6検体、B型毒 素は2検体であり、B型菌の検出にはブドー糖の影響は見られなかった。C型菌の検 出にはブドウ糖が存在する方が検出率はやや高かった。培養前の加熱処理の影響を見 ると、C型菌では60℃加熱で検出されたのは7検体、80℃加熱で検出されたものも7 検体で、差異は見られなかった。B型菌の場合には、80℃加熱でのみ検出され、60℃ 加熱後の培養で検出されたものは一検体もなかった(表3、表4)。

4. ボツリヌス菌検出に使用した方法の評価

- 6 -

表5に示すように、E型菌は、60℃15分加熱の場合、牛肉でも、兎肉でも、1 個/g 以下の芽胞濃度でも発芽、増殖し毒素産生が見られた。A型、B型芽胞は、牛肉でも 兎肉でも、80℃15分加熱の場合には 1個/g以下の濃度でも発芽し毒素産生がみられた。 C型菌は、牛肉、兎肉ともに、60℃加熱でも、80℃加熱でも、 1個/g以下の濃度でも 毒素産生が見られた。一方、スケソウタラすり身は、B型芽胞接種80℃15分加熱検体 以外は、10個/gあるいはそれ以上の濃度の芽胞が存在しないと毒素産生は見られなか った。以上の結果から、牛肉、兎肉に関しては、今回使用した四種類の方法を用いる 検査方法は妥当であると言える。スケソウタラすり身に関しては、毒素産生が陰性で あることから直ちにボツリヌス菌の存在を否定することは出来ない。

IV. 考察

ボツリヌス菌は抵抗性の強い芽胞の型で、土壌、食品、飼料、その他の環境に広く 分布している。Meyer らの一連の報告(Meyer and Dubovsky, 1922a, b, c; Dubovsky and Meyer, 1922)によれば、ヨーロッパ諸国の土壌検体の20.6%はボツリヌス菌陽 性で、その58.8%はB型菌である。アメリカ合衆国では、東部はB型菌が多く分布し、 西部はA型菌の分布が多い。カリフォルニア州の土壌の約30%はボツリヌス菌陽性で、 A型菌が約75%、B型菌は約22%、残りの3%はA+B型菌が検出された。彼等の用い た検査法では、易熱性の芽胞を形成するE型菌は見逃されたものと考えられるが、C 型菌(C型菌は1922年に発見された)と見做すべきものは、一例も検出されていない。

E型菌は海、湖、河川の土壌および魚介類から検出されることが多い。北米五大湖 のスペリオール湖、エリー湖の魚のE型菌の保菌率は1%程度であるが、ミシガン湖の グリーン湾の魚の57% からE型菌が検出されている(Bott et al., 1966)。北米太平 洋岸で捕獲されるカニの58% はボツリヌス菌陽性で、E型菌のみならず、A型、B型、 C型菌も検出されている(Eklund and Poysky, 1967)。ヨーロッパでも魚介類からの ボツリヌス菌の検出率は非常に高い。とくにスンド海峡、カテガト海峡で捕獲される 魚の100%からE型菌が検出される(Cann et al., 1965)。魚介類に比べると頻度は低 いが、食肉製品には比較的高頻度にボツリヌス菌が検出される。例えば、冷凍チキン ・ア・ラ・キングの25% にA型菌が(Saleh and Ordal, 1955)、ランチョンミートの 14% にB型菌が (Abrahamson and Riemann, 1971) また種々の食肉、食鳥製品の 1.6
% にA型あるいはB型菌 (Tachiondo et al., 1967) が検出された。しかし、生肉の ボツリヌス菌汚染の調査の報告は少なく、また検出例も少ない。Greenberg(1966) は、 アメリカ合衆国およびカナダ産の新鮮鷄肉、牛肉、豚肉、合計 2,358検体を調べた。
僅かにカナダ産の鶏肉1検体からC型菌を検出した。

今回の調査では、 570検体のうち、18検体(3.2%)にボツリヌス菌が検出された。C 型菌は食品衛生上ヒトに危害を与えることはないと考えられるが(Roberts and Gibson, 1979)、B型ボツリヌス菌は肉製品による中毒をおこすことが多く、今回の試 験でB型菌が3検体(0.53%)から検出されたことは、食品衛生上注目に値する。B型 菌が検出されたのはいずれも豚肉であり、それぞれアメリカ合衆国、デンマークおよ びノルウエーから輪入されたものである。わが国では、昭和44年、宮崎県で、ドイ ツから輪入されたビン入りキヤビアによってB型中毒事件が発生したが、それ以外に はB型中毒の発生はない。わが国では、土壌、水、食品などの検索で、未だかつてB 型菌が検出されたことはない。したがって、B型菌が検出された豚肉は国内で汚染し たものとは考え難く、国外で汚染され持ち込まれたという可能性が強い。しかし、食 肉、その他の食品の輪入が増大している折から、A型、B型菌芽胞も国内へ持ち込ま れている事実は見逃せない。

一方、C型菌は世界中に広く分布し、わが国に於いて、河川敷の土壌、鳥類の腸内 容、魚類、食用蛙などに広く分布し、ミンク、カモ、ブロイラー、キジ等の動物のC 型ボツリヌス中毒発生事例が報告されている。したがって、食肉からC型菌が検出さ れることは特に驚くには当らず、また汚染は海外でおこったか、国内であるかは不明 である。また、我が国では発病例の報告はないが、ウシ、ヒツジ、イヌなどの感受性 は高い。10月6日に検査に供した16検体のうち実に7検体からC型菌が検出された ことは、二次汚染(Cross contamination)の可能性を示唆する。

今回の検出方法としては、検体を増菌培地に接種することはせず、食肉に燐酸ペプトン緩衝液を等量加え、ストマッカーで磨砕したものをそのまま培養した。この燐酸 緩衝液には、ブドウ糖を添加したものとしないもの、また培養前に80℃15分あるいは 60℃15分加熱を行ったので、四種類の異なった方法を用いたことになる。その結果、 ボツリヌス菌陽性の18検体のうち15検体は一方法のみで検出され、二方法および三方 法で検出されたものは3検体にすぎない。このことは、一般に汚染菌数が少なく、四 つの接種材料中の一つにしかボツリヌス菌が存在しなかったものと考えられる。

C型菌(またはD型菌)は、60℃15分加熱した場合のみ検出したもの7検体、80℃ 15分加熱した場合のみ検出したもの7検体、両法で検出したもの1検体であった。ま たプドウ糖無添加燐酸ペプトン緩衝液で検出したもの9検体、プドウ糖添加燐酸ペプ トン緩衝液で検出したもの3検体、両者とも検出したもの3検体で、C型菌はあまり 検出方法を選ばず、肉の中に芽胞が存在すればどの方法でも検出できると考えられる。 これに反し、B型菌は、すべて80℃15分加熱した場合にのみ検出可能であり、60℃15 分加熱で検出されたものは1検体もない。ブドウ糖存在下で検出できたものは2検体、 プドウ糖非存在下で検出できたものは1検体で、ブドウ糖の存否は検出とは関係なく、 加熱条件が重要であることが示唆された。

B型菌は 3検体中 2検体から純粋分離に成功し、その性状の詳細は調査中であるが、 両者とも蛋白分解性で、耐熱性芽胞を産生し、毒素産生能は高い(約70万マウス ip LD₅₀/ml に達した)ものである。今回の調査ではA型、E型、F型菌は検出されなか った。芽胞が易熱性のB、E、F型菌の検出には、80C15 分の加熱は不適当で、すべ ての型のボツリヌス菌の検出には、試料(あるいは接種した培養基)の加熱条件が特 に重要であると言える。

牛肉、兎肉、スケソウタラすり身の磨砕したものに、既知の数のA、B、C、E型 各芽胞を加えて、増殖、毒素産生を調べた実験では、牛肉、兎肉、に関しては、60℃、 あるいは 80 ℃15分加熱のいずれか一方、あるいは両方に、1g中 1個の芽胞が存在す れば30℃ 1週間の培養で必ず毒素が検出されることがわかり、今回の方法の妥当性が 証明されたと思われる。しかし、牛肉に接種したB型菌が少数(100個/g以下)では、 毒素産生が見れれなかったこと、また牛肉、兎肉ともに、E型菌が少数(100個/g 以下)では、80℃15分の加熱では毒素産生がみられなかったことから、培養法(検査 法)、とくに、加熱条件の重要性が示された。反対に、易熱性のE型芽胞でも、食肉 中では、 100個/gの濃度では、80cで比較的長時間の加熱に耐える事実は注目に値す る。馬肉、羊肉での実験は行わなかったが、とくに脂肪が多いなどの特殊な条件でな い限り、牛肉、兎肉の結果が当てはまると考えられる。

これに対し、スケソウタラすり身は培地として適当でないことを示す成績が得られた。しかし、80℃15分加熱した場合、芽胞数10個/g以上あれば各型菌が毒素を産生すること、60℃15分の加熱では、E型菌以外は、 100個/g以上の芽胞を必要とすることなどから考えると、すり身は、培養基として不適というよりも、他の食肉に比べて細菌汚染が濃厚なため、雑菌との拮抗現象がみられたものと考えられる。

今回の調査で、定期的に検体採取したメーカーの原料肉より当然汚染の高い、デパ ート、スーパー、小売店の食肉からボツリヌス菌が検出されたものがなかったことは、 同じように、汚染菌による拮抗現象によるためと考えられる。このことは、細菌汚染 の甚だしい生肉中のボツリヌス菌検索の場合には、培養成績陰性でもボツリヌス菌芽 胞の存在を否定することはできないことを示唆しているものと思われる。

いずれにしても、冷凍食肉検体の約 0.53%(豚肉検体の約 1.8%)に耐熱性B型ボツ リヌス菌芽胞の存在が証明されたことは、『欧米諸国からの輸入品であるので当然で あり、驚くには当らない』とは言うものの、食肉の加工、貯蔵には充分な注意と警戒 が必要である。『わが国には、A型、B型ボツリヌス菌の芽胞は存在しないであろう』 という誤った考えから、『食肉製品に、亜硝酸ナトリウム、食塩などの制菌物質の添 加は不必要である』というような楽観的な考え方は即刻改めなければならない。昭和 59年6月に発生した真空包装からしレンコンによるA型ボツリヌス中毒事件(患者 36名、死者11名、致死率30.6%)で得られた教訓から、我が国にもA型、B型ボツリヌ ス菌は存在するという前提に立脚して、食肉製品の微生物管理を徹底しなければなら ない。

-10 -

- Abrahamsson, K. and H. Riemann (1971) Prevalence of <u>Clostridium</u> <u>botulinum</u> in semipreserved meat products. Appl. Microbiol., 21, 543-544.
- Bott, T. L., J. S. Deffner, E. McCoy and E. M. Foster (1966) <u>Clost</u> <u>ridium botulinum</u> type E in fish from the Great Lakes. J. Bacteriol., 91, 919-924.
- Cann, D. C., B. B. Wilson, G. Hobbs, J. M. Shewan and A. Johannsen (1965) The incidence of <u>Clostridium botulinum</u> type E in fish and bottom deposits in the North Sea and off the coast of Scandinavia. J. Appl. Bacteriol., 28, 426-430.
- Dubovsky, B. J. and K. F. Meyer (1922) An experimental study of the methods available for the enrichment, demonstration and isolation of B. botulinus in specimens of soil and its products, in suspected food, in clinical and in necropsy material. I. J. Infect. Dis., 31, 501-540.
- Eklund, M. W. and F. Poysky (1967) Incidnece of <u>Clostridium botulinum</u> type E from the Pacific coast of the United States. In "Botulism 1966" (M. Ingram and T. A. Roberts, eds.) 49-55, Chapman and Hall, London.
- Greenberg, R. A., R. B. Tompkin, B. O. Bladel, R. S. Kittaka and A. Anellis (1966) Incidence of mesophilic <u>Clostridium</u> spores in raw pork, beef, and chicken in processing plants in the United States and Canada. Appl. Microbiol., 14, 789-793.

Meyer, K. F. and B. J. Dubovsky (1922) The distribution of the spores of <u>B. botulinus</u> in California. II. J. Infect. Dis., 31, 541-555.
Meyer, K. F. and B. J. Dubovsky (1922) The distribution of the spores of <u>B. botulinus</u> in the United States. IV. J. Infect. Dis., 31, 559-594.

- Meyer, K. F. and B. J. Dubovsky (1922) The occurrence of the spores of <u>B. botulinus</u> in Belgium, Denmark, England, the Netherlands and Switzerland. VI. J. Infect. Dis., 31, 600-609.
- Roberts, T. A. and A. M. Gibson (1979) The relevance of <u>Clostridium</u> <u>botulinum</u> type C in public health and food processing. J. Food Technol., 14, 211-226.
- Saleh, M. A. and Z. J. Ordal (1955) Studies on growth and toxin pro duction of <u>Clostridium botulinum</u> in a precooked frozen food. I. Some factors affecting growth and toxin production. Food Res., 20, 332-339.
- Taclindo, C. Jr., T. Midura, G. S. Nygaard and H. L. Bodily (1967) Examination of prepared foods in plastic packages for <u>Clostridium</u> botulinum. Appl. Microbiol., 15, 426-430

1. 燐酸ペプトン緩衝液A

Na ₂ HPO ₄ ・12H ₂ O バクト・ペプトン (ディフコ	(和	<mark>ا</mark> 光	絅	· 薬	ξ.	特	镢級)	•	•	•	•	2.6	g
バクト・ペプトン(ディラコ)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	13.0	g
蒸溜水	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	1, 300	m I
pH 7.0															

3. ゼラチン希釈液

ゼラチン末(和光純薬)			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2.0	g
$Na_{2}HPO_{4} \cdot 12H_{2}O$	(和	1光	浰	褬	Ξ.	特	籾	()	•	•	•	•	10.1	g
蒸溜水	,	,	,	,	,	,	,	,	,	,	•	•	900	m i
2 N 塩酸でpH 6.2に修正														
蒸溜水を加えて	•	•	•	•		•		•	•	•		1	, 000	m I
ペニシリン(明治)	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	300	, 000	ΙU
ストレプトマイシン(明治)				•	•	•	•	•	•	•	•	•	500	mg

4. 強化クックト・ミート培地

バクト・クックト・ミート培地(ディフ)				•			•	12.5	g
ブドウ糖(和光純薬、特級)	•	•	•	•	•	•	•			0.8	g
硫酸アンモニウム(和光純薬、特級)	•				•	•	•			1.0	g
酵母エキス(オリエンタル酵母)	•	•		•	•	•	•			1.0	g
可溶性澱粉(和光純薬、 1級)	•	•		•	•	•	•	•	•	0.5	g
炭酸カルシウム(和光純薬、特級)	•	•		•	•	•	•		•	0.5	g
蒸溜水	•	•		•	•	•	•	•		100	m i
pH 7.6											

5. ブドウ糖・澱粉加クックト・ミート培地 バクト・クックト・ミート培地(ディフコ).... 12.5 g

ブドウ糖(和光純薬、特級)	0.3	g
可溶性澱粉(和光純薬、 1級)	0.2	g
蒸溜水	100	ml
pH 7.3		

6. 卵黄加GAM寒天培地

GAM寒天培地(日水)		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	74	g
システイン塩酸塩(和光純薬、	特級)	•	•	•	•	•	•		•		•	1.0	g
蒸溜水	•	•	•			•	•	•	•	•		900	ml
pH 7.3													

- 115 ℃15分滅菌後
- 50% 卵黄懸濁液 約30 ml づつ直径90 nm のペトリ皿に分注し、固めてから嫌気ジャーに室温触媒とシリカゲルと共に納め、37℃24時間寒天平板 表面を乾燥させると共に無菌試験を行う。

7.	トリプチケース・ペプトン 培地	(A	、	В	型	速	抈	胞	直	<u></u>	EÆ)			
	トリプチケース(BBL)	•	•						•					50	g
	バクト・ペプトン(ディフコ))	•		•		•	•	,		•		•	10	g
	蒸溜水		•		•	•	•				•			1,000	ml
	pH 7.0														

8. E型菌芽胞產生用培地

トリプチケース・ペプトン培地	•	•	•	•	•	•	•	•	•	100	ml
ブドウ糖(和光純薬、特級)		•			•			•		5. 0	g

9. C型菌芽胞產生用培地

トリプチケース・ペプトン培地		•	•	•	•		•			•	100	ml
ブドウ糖(和光純薬、特級)	•		•	•	•		•	•	•	•	1.0	g
硫酸アンモニウム(和光純薬、特級)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1.0	g
酵母エキス(オリエンタル酵母)	•		•		•						1.0	g
炭酸カルシウム(和光純薬、特級)	•	•	•	•	•			•	•	•	0.5	g
pH 7.6												

-14 -



表 1 - 1 <LETHAL TOXICITY POSITIVE P1>

										_					
DATE	NO.4	ANIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	вот	TYP	Т	Μ	LET	вот	TYP
830826	002	Р	ウチモモ	TWA	60	15	- +	+	-		80	15	 -+-	-	
830826	003	q	ג-ם	TWA	60	15	- +	+ 	-		80	15	-+	-	
830826	008	R	ג-ם	チンダオ	60	15		+	-		80	15	 +-		
830826	009	R	ג-ם	チンダオ	60	15	 +	 +			80	15	+		
830826	010	M		NZL-TWA	60	15		+ -			80	15	-		
830826	012	Н			60	15	 +	-			80	15	+	-	
830826	014	Н			60	15	 +	-+			80	15	+	-	
830930	91	р	tt	TWA	60	15	 +	+ 	+ 	C*	80	15	-		
831006	99	Н			60	15	+		-		80	15	+	+	C C
831006	101	R		CHI	60	15	+	+	+	c	80	15			
831006	103	B7;	オア&ハイント``	AUL	60	15	- +	+	+	С	80	15		-	
831006	106	M		NZL-KOR	60	15			 -+-	CI	80	15			
831006	109	Ρ	ホッシレス	S₩E	60	15	 +	 +	-+	c	80	15	+ +	++	C *3
831006	110	р	עב- "י	SWE	60	15	 +-		-		80	15		-	
831006	111	S		JAP	60	15	 -t-				80	15	 	+	С
831006	112	S		I qal	60	15					80	15	 +		?
				<u></u>						·l					

表 1 - 2	2		
<lethal< td=""><td>TOXICITY</td><td>POSITIVE</td><td>P2></td></lethal<>	TOXICITY	POSITIVE	P2>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	Т	Μ	GL	LET	BOT	TYP	T	М	LET	BOT	TYF
831013	118	P	ualis" -	USA	60	15	+	-	-		80	15	+	+	З
831027	153	Р	ג-םעּת	TWA	60	15	- +	- +	?	?	80	15	-	-	
831102	162	R		CHI	60	15	 +	-	-		80	15	+	?	•
831102	167	Н			60	15	 +	-	-		80	15	+	- ?	a.
831102	172	Ρ	ŦŦ	JAP	60	15	 +	-			80	15	+ -	? -	
831117	205	R		CHI	60	15	- +	+	+ +	С	80	15		-	
831124	216	М		NZL-KOR	60	15	- +	+ -	+ 	С	80	15	-	-	
831124	223	S		JAP	60	15	 +	-			80	15	+ 	+ 	-
840120	241	Р	い"う	FIN	60	15	+	-			80	15		-	
841020	242	P	508750	TWA	60	15	 +	+ -	-		80	15		-	
840210	289	Ρ	ג-ם	TWA	60	15	- +	+	-	-	80	15	-		
840210	290	Р	9 <i>.</i> ,9	DEM	60	15	+	-		-	80	15		-+	Ē
840210	291	Р	ŧŧ	NOR	60	15	4-	-		-	80	15	+	 +-	- Ξ
840210	292	Р	ウテッ	TWA	60	15	+			TET	80	15			те-
840210	296	M		TWA-NZL	60	15	 +			-	80	15	+	-	-

表 1	3		
KLETHAL	TOXICITY	POSITIVE	P3>

DATE	NO.	ANIM	SITE	ORIG	T	Μ	GL	LET	BOT	TYP	Т	M	LET	BOT	TYP
840426	334	R		CHI	60	15	- +	-			80	15	- +	-	тет
840531	387	Р	עב- "י	DEN	60	15	- +	-			80	15	+	+ -	C*
840531	388	Р	ŧŧ	SWE	60	15	- +	+	-		80	15	-		
840607	405	В	シンスカート	NZL	60	15	 +				80	15	+ +	+ +	C* C*
840607	414	R		CHI	60	15	- +	+	+	C,D	80	15			
840614	421	В	tt	AUL	60	15	 +	_			80	15	+ 	+ 	С
840706	449	Ρ	ウテ゛	TWA	60	15	+	+	-		80	15	-		
840614	460	Н			60	15	 +	+	-		80	15	-		
8310111	1047	Ρ	במאב ופעמ	メーカー	60	15	 {-	-			80	15			
8401031	1110	В	כ‡לב	ליב "שא	60	15	+	+	-		80	15	+ 	? -	
8401031	1114	В	ט‡לב	NÐ" að I	60	15	-	+			80	15			
8401031	1125	В	צת	トシ゛ョウ!	60	15		+			80	15			

表 2-1

<C.BOTULINUM POSITIVE P1>

TYP	BOT	LET	M	Т	TYP	вот	LET	GL	М	Т	ORIG	SITE	NIM	NO.A	DATE
	-	-	15	80	C*	+ -	+ -	 +	15	60	TWA∣	ŧŧ	Ρ	91	830930
C C	+ +	+ +	15	80		-	-	- +	15	60			н	99	831006
	-		15	80	С	+ -	+ -	 +	15	60	CHI		R	101	831006
	_	-	15	80	C	+ 	+ -	 +	15	60	AUL	オア&ハイント〝	B7	103	831006
	-	-	15	80	c	- +	- +	 +	15	60	NZL-KOR		М	106	831006
C * C	+ +	++	15	80	CI	- +	- +	 +	15	60	S₩E	ホ゛ンレス	Р	109	831006
С	- +	- +	15	80		-	_	- +	15	60	JAP	<u> </u>	S	111	831006
?	- +	- +	15	80		_		 +	15	60	JAP 	<u></u>	S	112	831006
B	+	+	15	80			_	 +	15	60	USA	ຍ⊒∥&" -	Ρ	118	831013
		-	15	80	CI	+	+	- +	15	60	CHI		R	205	831117
			15	80	CI	+	+ -	 +	15	60	NZL-KOR		М	216	831124
С	+	+	15	80			_	 +	15	60	JAP		S	223	831124
B	 +	 +	15	80	- -	-	_	 +	15	60	DEM	ກ " ອ	Ρ	290	840210
 B	- +	 +	15	80	 – 	-	-	 +	15	60	NOR	ŧŧ	Ρ	291	840210
C*	+	+	15	80		-	-	 +	15	60	DEN	עב- "י	Ρ	387	840531

表 2 - 2 <C.BOTULINUM POSITIVE P2>

DATE NO.	ANIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	BOT	TYP	Т	M	LET	BOT	TYP
840607 405	В	シンスカート	NZL	60	15	 +	-	-		80	15	++	+ +	C* C*
840607 414	R	- <u></u>	CHI	60	15	 +	+ -	+ -	C,D	80	15	-	-	
840614 421	В	ŧŧ	AUL	60	15	- +		-		80	15	+	+ -	С

ブドウ糖	加熱温度		陽性検体数	
(0.5%)	(°C)	B型菌	C型菌	計
	60	0	6	6
+	60	0	2	2
	80	1	6	7
+	80	2	5	7
Ē		3	19	22

表3. ボツリヌス菌検出方法と検出率

表4. 検出方法数と陽性検体数

	陽性検体数
	15
二方法	2
三方法	1
計	18

表5. 毒素検出に必要な芽胞数(A, B, C, およびE 型菌)(1g 当り)

菌型	加熱温度(℃)	牛肉	兎肉	スケソウタラ
A	60	<1	<1	>1,000
	80	<1	<1	10
В	60	100	<1	100
	80	<1	<1	<1
С	60	<1	<1	100
	80	<1	<1	10
Ε	60	<1	<1	10
	80	100	100	10

表 6 〈62A IN BEEF(45) AT 30 C〉

-	INCUBATION	SAMPLE	TIME(MIN)	TOXIN TYPE	50%LD/ML	X5
	7 DAYS	1,000 A	70	A	40,740	203,700
	7 DAYS	1,000 B	79	A	26,850	134,250
	7 DAYS	100 A	55	A	93,580	467,900
	7 DAYS	100 B	104	A	10,400	52,000
	7 DAYS	10 A	59	A	73,460	367,300
	7 DAYS	10 B	83	A	22,640	113,200
	7 DAYS	1 A	134	A	4,340	21,700
-	10 DAYS	1 B	111	A	8,310	41,550
	10 DAYS	1,000 A	65	A	52,600	263,000
	10 DAYS	1,000 B	79	A	26,850	134,250
	10 DAYS	100 A	62	A	61,910	309,550
	10 DAYS	100 B	59 61	A	73,460	367,300
	10 DAYS	10 A		A	65,480	327,400
	10 DAYS	10 B	73	A	35,250	176,250
	10 DAYS	1 A	73	A	35,250	176,250
	10 DAYS	1 B	81	Α	24,630	123,150

comment : 3SA18, A=60, B=80

表 7

<E 35396 IN BEEF (61) AT 30 C>

X 5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE
310,000 146,100	62,000 29,220	E	40 51	1,000 A 1,000 B
512,700 68,950	102,540 13,790	E	34 65	100 A 100 B
146,100	29,22 0 0	E	51	10 A 10 B
146,100 0	29,220 0	E	51	1 A 1 B

comment : 3SA20,A=60,B=80

表 8

<C 205-1 IN BEEF (72) AT 30 C>

X5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE
188,500 175,250 319,300 211,100 237,500 106,950 87,200 142,300	37,700 35,050 63,860 42,220 47,500 21,390 17,440 28,460	C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	76 78 63 73 70 93 100 84	1,000 A 1,000 B 100 A 100 B 10 A 10 B 1 A 1 B

comment : 3SA21, A=60, B=80

Time (min)=5 倍希釈抽出液 0.1mlマウス尾静脈注射から死亡までの時間(分) ×5=抽出液1 mlの毒力(マウス ipLD50/ml)

X5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE
TRACE	TRACE	В	D	1,000 A
TRACE	TRACE	B	D	1,000 B
TRACE	TRACE	В	D	100 A
TRACE	TRACE	В	D	100 B
			S	10 A
TRACE	TRACE	В	D	10 B
TRACE	TRACE	В	D	1 A
			S	1 B

表 9 <B 41 IN BEEF (84) AT 30 C>

comment : A=60,B=80

表 10

<62 A IN RABBIT (100) AT 30 C>

X5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE
63,850	12,770	A	98	1,000 A
277,450	55,490	А	64	1,000 B
168,200	33,640	A	74	100 A
134,250	26,850	A	79	100 B
47,150	9,430	A	107	10 A
176,250	35,250	A	73	10 B
63,850	12,770	A	98	1 A
203,700	40,740	A	70	1 B

comment : 3SA25, A=60, B=80

表 11

<C205-1 IN RABBIT(139) AT 30 C>

X5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE
611,150	122,230	С	50	1,000 A
366,200	73,240	С	60	1,000 B
492,350	98,470	С	54	100 A
578,100	115,620	С	51	100 B
467,600	93,520	С	55	10 A
646,800	129,360	С	49	10 B
727,150	145,430	С	47	1 A
422,950	84,590	С	57	1 B

comment : 3SA28, A=60, B=80

表	12							
<a>	62	IN	SUKESO	(239+240)	AT	30	C>	

X5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE	
0	0	Α	S	1,000 A	
367,300	73,460	А	59	1,000 B	
0	0	A	S	100 A	
TRACE	TRACE	A	D	100 B	
0	0	A	S	10 A	
TRACE	TRACE	A	D	10 B	
0	0	A	S	1 A	
0	Ō	A	Ŝ	1 B	

comment : 4SA02, A=60, B=80

表 13

<C 205-1 IN SUKESO (256) AT 30 C>

X5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE
0 1,537,750 147,200 72,100 0 53,500 0	0 307,550 29,440 14,420 0 10,700 0	C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	S 36 83 107 S 119 S	1,000 A 1,000 B 100 A 100 B 10 A 10 B 10 B 1 A

comment : 4SA04, A=60, B=80

表 14

<E 35396 IN SUKESO (255+257) AT 30 C>

 SAMPL	.E	TIME(MIN)	TOXIN TYPE	50%LD/ML	X5
 1,000		D	E	TRACE TRACE	TRACE TRACE
1,000	Α	156	E	920	4,600
100 10	А	144 D	E	1,180 TRACE	5,900 TRACE
10 1	B A	D S	E	TRACE 0	TRACE 0
1	В	S	E	0	0

comment : 4SA05, A=60, B=80

© The Ito Foundation

表 15

<E 35396 IN RABBIT(146) AT 30 C>

X5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE
TRACE	TRACE	E	D	1,000 A
0	0		S	1,000 B
TRACE	TRACE	E	D	100 A
9,550	1,910	E	123	100 B
TRACE	TRACE	E	D	10 A
0	0		S	10 B
TRACE	TRACE	E	D	1 A
Ō	0		S	1 B

comment : 3SA29, A=60, B=80

表 16

<B OKRA IN BEEF (170) AT 30 C>

X5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE
TRACE TRACE 0 44,650 TRACE 2,950 TRACE 24,950 31,950	TRACE TRACE 0 8,930 TRACE 590 TRACE 4,990 6,390	B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	D D S 106 D 221 D 124 116	1,000 A 1,000 B 100 A 100 B 10 A 10 B 1 A 1 B CMM

comment : 3SA30, A=60, B=80

表 17

<B OKRA IN RABBIT (189) AT 30 C>

X5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE
27,350	5,470	В	121	1,000 A
306,600	61,320	В	63	1,000 B
10,650	2,130	8	156	100 A
345,550	69,110	В	61	100 B
12,350	2,470	В	150	10 A
390,950	78,190	В	59	10 B
TRACE	QTRACE	В	D	1 A
289,250	57,850	В	64	1 B

comment : 3SA32, A=60, B=80

© The Ito Foundation

表 18

X5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE
TRACE	TRACE	В	D	1,000 A
62,000	12,400	В	97	1,000 B
TRACE	TRACE	В	D	100 A
55,400	11,080	В	100	100 B
0	0	В	S	10 A
TRACE	TRACE	В	D	10 B
0	0	В	S	1 A
TRACE	TRACE	В	D	1 B

(B OKRA IN SUKESO (287+288) AT 30 C>

comment : 4\$A06, A=60, B=80

表 19

<B OKRA IN BEEF (294+295) AT 30 C>

X5	50%LD/ML	TOXIN TYPE	TIME(MIN)	SAMPLE
5,550	1,110	В	186	1,000 A
115,500	23,100	В	82	1,000 B
3,550	710	В	210	100 A
231,100	46,220	В	68	100 B
TRACE	TRACE	В	D	10 A
168,950	33,790	В	74	10 B
TRACE	TRACE	В	D	1 A
92,750	18,550	В	87	1 B

comment : 4SA07, A=60, B=80

表6~19は牛肉、兎肉、スケソウタラすり身(検体番号で示した)そ れぞれに、A型、B型、C型菌芽胞(18中に1個から18中1,000 までの各段階)それぞれを加え,60°C(A)あるいは80°C15分加 熱後(B)30°C7日培養した時の毒素産生(ipLD 50/mlで表示)を 示す。

- 26 -

表 20

<78°1 1>

DATE	NO.4	ANIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	вот	TYP	т	M	LET	BOT	TYP
830826	001	Ρ	い*う	TWA	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830826	002	Р	ウチモモ	TWA	60	15	+	+ -	-		80	15	- +	-	
830826	003	Р	ג-ם	TWA	60	15	- +	+ -	-		80	15	+	-	
830826	004	Р	ŧŧ	ן ⊽פ™בת 	60	15	+	-	-	1	80	15	-	-	
830826	005	В	ホ゛ンレス	AUL	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830826	006	В	シンズカート	AUL	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830826	007	Ρ	ג-ם	USA	60	15	 +	_			80	15	-	-	
830826	008	R	ג-ם	£534	60	15	- +	+ -	-		80	15	 +	-	
830826	009	R	ג-ם	7087	60	15	- +	- +	-		80	15	+ -	-	
830826	010	M		NZL-TWA	60	15	- +	+ -	_		80	15	-	-	
830826	011	М		NZL-TWA	60	15	 +	-	-	1	80	15	-	-	
830826	012	Н	<u></u>		60	15	- +	-			80	15	- +	-	
830826	013	Н			60	15	 +	-	-	1	80	15	-		
830826	014	н			60	15	 +	 +			80	15	+ +	-	
830826	015	M		NZL-KOR	60	15	- +		-	İ	80	15	-	-	
830826	016	S		JAP	60	15	- +	-	-		80	15	-	_	

comment : T=TEMP. M=MINUTES GL=GLUCOSE LET=LETHAL TOXIN BOT=BOTULINUM TOXIN

表20~56は,検体採取日毎の検査成績を示す。P=豚肉,B=牛肉,R=兎肉, M=羊肉,H=馬肉,S=スケソウタラすり身

TYP=毒素型。*はボツリヌス菌分離成功例を示す。

表 21

<79°1 2>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	BOT	TYP	Т	M	LET	BOT	TYP
830902	17	н	AR.	BR.MX.	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830902	18	н	AR.	BR.MX.	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
830902	19	Н	AR.	BR.MX.	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
830902	20	М		KOR	60	15	- +	-	-		80	15		-	
830902	21	М		KOR	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830902	22	M		KOR	60	15	- +	-	-		80	15	-		
830902	23	В		AUL	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830902	24	В		AUL	60	15	- +	-	-	1	80	15	-	-	
830902	25	Ρ	ウデ゛	דפ*במ 	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
830902	26	Р	ŧŧ	NOR	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
830902	27	Р	ג-ם	USA	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
830902	28	Ρ	עב− ״ר	FIN	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830902	29	R		CHI	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830902	30	R		CHI	60	15	- +	-	-		80	15	_	-	
830902	31	S		JAP	60	15	+	-	-	† 	80	15	-	-	
830902	32	S		JAP	60	15	- +	_	-		80	15	-	-	

表 22

<78°1 3>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	T	Μ	GL	LET	BOT	TYP	Т	M	LET	BOT	TYF
830908	33	M		AUL-KOR	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830908	34	M		TWA	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830908	35	M		NZL-KOR	60	15	 +		-		80	15	-	-	
830908	36	Н			60	15	 +	-	-	1	80	15	-	-	
830908	37	Н			60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830908	38	н			60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830908	39	R		₹097	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830908	40	R		¥2\$\$\$	60	15	- +		-		80	15	-	-	
830908	41	Р	דצכפ	TWAI	60	15	- +	_	-	-	80	15	-	-	
830908	42	Р	ŦŦ	SWE	60	15	 +	-	-		80	15		-	
830908	43	Р	N* 5	7פ״במ 	60	15	- +	_			80	15	-	- -	
830908	44	Ρ	ב "וו	FIN	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830908	45	В		AUL (60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830908	46	В		AUL	60	15	- +		-		80	15	-	-	
830908	47	S		JAP	60	15	- +	_	-		80	15	-	-	
830908	48	S		Adf	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	

表 23

(79"1 4>

DATE	NO.A	MIN	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	вот	TYP	Т	M	LET	BOT	TYP
830914	49	н	_		60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
830914	50	н			60	15	- +	-	-		80	15	-		
830914	51	н			60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
830914	52	M		AUL-KOR	60	15	- +	_	-		80	15	-	-	_
830914	53	М		NZL-KOR	60	15	 +	-			80	15	-	-	
830914	54	M		TWA	60	15	- +	-			80	15	-	-	
830914	55	Ρ	ג-ם	USA	60	15	- +	_	-		80	15			
830914	56	Р	ヘ *リー	SWE	60	15	 +	_	-		80	15	-	-	
830914	57	Ρ	ŧŧ	CAN	60	15	- +		_		80	15	-	-	
830914	58	Рホ	[•] ンレスハ [•] ット	USA	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
830914	59	R		CHI	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
830914	60	R		CHI	60	15	+	-	-	1	80	15	-	-	
830914	61	В		AUL	60	15	 +	-	_		80	15	-	-	
830914	62	В		AUL	60	15	 +	-			80	15	-		
830914	63	S		JAP	60	15	- +	-			80	15	_		
830914	64	S		JAP 	60	15	- +	-	_		80	15	-	-	

comment : T=TEMP. M=MINUTES GL=GLUCOSE LET=LETHAL TOXIN BOT=BOTULINUM TOXIN

- 30 -

表 24

<78°1 5>

DATE	NO.	ANIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	вот	TYP	Т	M	LET	вот	TYP
830921	65	Н			60	15	- +	-			80	15	-	-	
830921	66	Н			60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
830921	67	Н			60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
830921	68	М		TWA	60	15	 +	_	_		80	15	-	-	
830921	69	М		NZL-KOR	60	15	- +		-		80	15	-	-	
830921	70	М		TWA	60	15	- +	-	-		80	15		-	
830921	71	В	シンスカート	AUL	60	15	 +	_			80	15		-	
830921	72	B7	オア&ハイント»	AUL	60	15	- +	-	-	 	80	15	-	-	
830921	73	R		СНІ	60	15	- +		-	<u> </u> 	80	15	-	-	
830921	74	R	* _A.2	CHI	60	15	- +	-			80	15	-		
830921	75	P	tt	SWE	60	15	- +				80	15	_		
830921	76	P	ر ۱۳غ	TWA 	60	15	+	-			80	15	-	-	
830921	77	Ρ	ñъ	SWE 	60	15	- +			 	80	15		_	
830921	78	Р	<i>ب</i> ر ا	SWE	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
830921	79	S	•	AAL 	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
830921	80	S		JAP	60	15	- +	-	-	 	80	15	-		

表 25

<78°1 6>

ANIM 1 R 2 R		ORIG CHI			GL.	LET	вот	TYP	т 80		LET	вот	TYF
		CHI	60	15		_	_		80	15			
2 R					+				00	17	_	-	
		CHI	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
3 B	フオア&ハイント〝	AUL	60	15	- +	_	-		80	15	-		
4 B		AUL	60	15	 +				80	15	_	_	
5 P	ŧŧ	CAN	60	15	- +	-	_		80	15	-		
6 P	ŧŧ	CAN	60	15	- +		-		80	15	-		
7 H			60	15	 +	-	-		80	15	-		
в н			60	15	- +	-	_		80	15	_	_	
∋ M		NZL-KOR	60	15	- +		-		80	15			
m c		AUL-KOR	60	15	- +	_		 	80	15	-		
1 P	tt	TWAI	60	15	- +	+	+ -	C*	80	15	-		
2 P	ב "נו	FINI	60	15	- +	-	-	 	80	15			
3 M	, .,,	NZL-COR	60	15	 +		_		80	15	-	-	
4 S	スリミ	JAP 	60	15	+	_		 	80	15			
5 S	スリミ	JAP 	60	15	 +	-			80	15			
	5 P 6 P 7 H 8 H 9 M 0 M 1 P 2 P 3 M 4 S	5 P ft 6 P ft 6 P ft 7 H	5 P	5 P ff CAN 60 6 P ff CAN 60 7 H 60 8 H 60 9 M NZL-KOR 60 9 M AUL-KOR 60 1 P ff TWA 60 2 P $i)^*5$ FIN 60 3 M NZL-COR 60 4 S $ZIJE$ JAP 60	5 P ff CAN 60 15 6 P ff CAN 60 15 7 H 60 15 8 H 60 15 9 M NZL-KOR 60 15 9 M AUL-KOR 60 15 1 P ff TWA 60 15 2 P $i)^{n}5$ FIN 60 15 3 M NZL-COR 60 15 4 S ZUE JAP 60 15	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$							

表 26

<78"1 7>

	-							-							
DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	BOT	TYP	ŢΤ	M	LET	вот	TYP
831006	97	н			60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
831006	98	Н			60	15	- +		-		80	15	-	-	
831006	99	н			60	15	 +	_	-		80	15	+ +	+ +	C C
831006	100	R		CHI	60	15	- +	_			80	15	-		
831006	101	R		CHI	60	15	- +	+ -	+ -	C	80	15	-		
831006	102	В	シンスカート	AUL	60	15	- +	_	_		80	15			
831006	103	ВЭ	オア&ハイント"	AUL	60	15	 +	+ -	+ -	CI	80	15			
831006	104	M		NZL-KOR	60	15	+			 	80	15	-	-	
831006	105	Μ		AUL-KOR	60	15	 +	-	-		80	15	_		
831006	106	M		NZL-KOR	60	15	- +	- +	- +	CI	80	15			
831006	107	Ρ	ג-ם	USA	60	15	 +	_			80	15	-	-	
831006	108	Ρ	ホッシレス	CAN	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
831006	109	P	ホッシレス	SWE	60	15	 +-	- +	 +	C I	80	15	++++	+++	C *3
831006	110	Ρ	יכב− ״ר	SWEI	60	15	 +	-		1	80	15	- +		
831006	111	S		JAP	60	15	+	-			80	15	- +	- +	С
831006	112	S		l qal	60	15	-+	-			80	15	- +		?

表 27

<78°1 8>

DATE	NO.4	ANIM	SITE	ORIG	T	M	GL	LET	вот	TYP	т	M	LET	BOT	TYP
831013	113	M		TWA	60	15	+	-			80	15	-	-	
831013	114	М		NZL-KOR	60	15	- +	-	-		80	15		-	
831013	115	M		AUL-KOR	60	15	 +	-	-		80	15		-	
831013	116	R		CHI	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
831013	117	R		CHI	60	15	- +	-	_		80	15		_	
831013	118	Р	əalıs" -	USA	60	15	- +				80	15	+	+	В
831013	119	Ρ	כב- "י	SWE	60	15	- +		-		80	15	_	-	
831013	120	р	ホッシレス	SWE	60	15	 +				80	15	-		
831013	121	Р	ג-ם	USA	60	15					80	15		-	
831013	122	-			60	15	+				80	15		_	
831013	123	Н			60	15	+				80	15	-		
831013	124	Н	······		60	15	+				80	15			
831013	125	В	ホッシレス	AUL	60	15	+				80	15			
831013	126	В	シンズカート	AUL	60	15	+				80	15			
831013	127	S		qal	60	15	+	1.1.1.00 			80	15			
831013	128	S		JAP	60	15	+			 	80	15	-		

comment : T=TEMP. M=MINUTES GL=GLUCOSE LET=LETHAL TOXIN BOT=BOTULINUM TOXIN

- 34 -

表 28

<78°1 9>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	BOT	TYP	т	Μ	LET	BOT	TYP
831020	129	Ρ	ウチモモシンタマ	TWA	60	15	 +	-	-		80	15	 		
831020	130	р	ג-םצל	SWE	60	15	+		_		80	15	-		
831020	131	Ρ	ג-ם	USA	60	15	 +	-			80	15	-	-	
831020	132	Ρ	עב- ״ע	FIN	60	15	 ++				80	15	-		
831020	133	В	シンスカート	AUL	60	15	 +	-			80	15		-	
831020	134	В	ホッシレス	AUL	60	15	+	-			80	15	-	-	
831020	135	М		AUL-KOR	60	15	 +	-			80	15		-	
831020	136	Μ		NZL-KOR	60	15	- +		-		80	15			
831020	137	М		NZL-KOR	60	15		-	-	 	80	15		-	
831020	138	R		CHI	60	15	- +		-		80	15	-		
831020	139	R	<u></u>	CHI	60	15	+				80	15		-	
831020	140	Н			60	15			-		80	15		-	
831020	141	Н		1	60	15					80	15	-	-	
831020	142	Н			60	15					80	15			
831020	143	S		JAP 	60	15	 -+-				80	15		-	
831020	144	S		JAP 	60	15	 +				80	15		-	

表 29

< 28 1 10>

DATE	NO.AI	NIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	вот	TYP	Т	M	LET	BOT	TYP
831027	145	R		CHI	60	15	- +		-		80	15		-	
831027	146	R		CHI	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
831027	147	М		KOR	60	15	- +				80	15	-	-	
831027	148	M		KOR	60	15	 +	_			80	15	_	_	
831027	149	M		KOR	60	15	- +	-			80	15		-	
831027	150	Ρ	ג-ם	SWE	60	15	 +				80	15	_	-	
831027	151	q	ŦŦ	FIN	60	15					80	15	-		
831027	152	Р	ג-ם	USA	60	15	 +	_	_		80	15			
831027	153	Ρ	ג-םצּת	TWA	60	15	- +		?	?	80	15		-	
831027	154	В	シンスカート	AUL	60	15	- +		_		80	15			
831027	155	B2;	オア&ハイント〝	AUL	60	15	 +				80	15		-	
831027	156	н			60	15	+				80	15			
831027	157	н	······································	1	60	15	 -+-	-	-	 	80	15	-		<u> </u>
831027	158	Н			60	15	- +	-	-		80	15	_		
831027	159	S		JAP	60	15	-+			ł	80	15			
831027	160	S		JAP	60	15	- +		-	 	80	15			

-36-

表 30

<78°1 11>

DATE	NO.	ANIM	SITE	ORIG	ŢΤ	М	GL	LET	вот	TYP	Т	М	LET	вот	TYP
831102	161	R	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	CHI	60	15	- +		-		80	15	-	-	
831102	162	R		CHI	60	15	 +		-		80	15	+	?	?
831102	163	Μ		NZL-TWA	60	15	- +	-	-		80	15		-	
831102	164	М		NZL-KOR	60	15	- +	-	-		80	15	_	-	
831102	165	M		NZL-KOR	60	15	 +	_	-		80	15	-	-	
831102	166	Н		[60	15	- +		-		80	15	-	-	
831102	167	Н			60	15	- +	-			80	15	 +	?	?
831102	168	Н			60	15	+	-			80	15	-	_	
831102	169	В	7#7&1111	AUL	60	15	 +-	-	_	1 	80	15			
831102	170	В	シンズカート	AUL	60	15	- +	_	_	 	80	15	-		
831102	171	P	ג-םעת	FIN	60	15	- +		-		80	15		-	
831102	172	þ	ŧŧ	JAP	60	15	- +	-			80	15	+	? -	?
831102	173	P	ມ``ວັ	IRL	60	15		_			80	15			
831102	174	Ρ	n" 5	TWA	60	15	-+	-			80	15			
831102	175	S		9AL	60	15	 +-			 	80	15		-	
831102	176	S		 AAL 	60	15	- +	-			80	15	-	-	

表 31

<78° f 12>

											·				
DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	Γ Γ	M	GL	LET	BOT	TYP	T	M	LET	BOT	TYP
831110	177	Р	ה״ינ	SWE	60	15	 +		-		80	15	-		
831110	178	Р	tt	SWE	60	15	 +		-		80	15	-	-	
831110	179	Р	ג-ם	USA	60	15			-		80	15		-	
831110	180	Р	ĴŦ`	TWA	60	15	+		-		80	15	-	_	
831110	181	В	ミンスカート	AUL	60	15	 -+-	-			80	15	_		
831110	182	В	ťť	AUL	60	15	+		-		80	15	-		
831110	183	Н			60	15	-+-		-		80	15		-	
831110	184	Ы			60	15	- +		-		80	15	-		
831110	185	Н			60	15	+				80	15			
831110	186	M		NZL-KOR	60	15			-		80	15	-	-	
831110	187	M		TWAI	60	15	-+-				80	15			
831110	188	M		AUL-KOR	60	15			-		80	15			
831110	189	R		CHI	60	15		-	- 		80	15			
831110	190	R		CHI	60	15					80	15			
831110	191	S		JAP	60	15					80	15			
831110	192	S		J AP I	60	15	+		-		80	15			

表 32

<78°1 13>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	BOT	TYP	Т	M	LET	BOT	TYP
831117	193	Р	ŧŧ	SWE	60	15	+				80	15	-		
831117	194	Р	עב− ״ר	S₩E	60	15	+				80	15		_	
831117	195	Р	ג-סצל	S₩E	60	15	 +				80	15			
831117	196	Р	ג-ם	USA	60	15	 +				80	15			
831117	197	Н			60	15	- +				80	15			
831117	198	Н			60	15	- +				80	15		-	
831117	199	Н			60	15	- +				80	15		-	
831117	200	M	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	AUL-KOR	60	15	 +		_		80	15	-	_	
831117	201	М		AUL-KOR	60	15	-+				80	15			
831117	202	M		NZL-KOR	60	15	- +			 	80	15		-	
831117	203	В	フォアハイント"	AUL	60	15	 +			 	80	15	-		
831117	204	В	シンスカート	NZL	60	15	-+	_		 	80	15	_	-	
831117	205	R		CHI	60	15	- +	+	+	С	80	15	-	-	
831117	206	R		CHI	60	15	 +				80	15			
831117	207	S		JAP	60	15	- +	-		 	80	15	_	-	
831117	208	S		JAP 	60	15	 +			 	80	15	-		

表 33

<78°1 14>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	вот	TYP	Т	М	LET	вот	TYP
831124	209	Ρ	ホッンレス	SWE	60	15	+	-			80	15	-		
831124	210	Ρ	ウテ゛	TWA	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
831124	211	Р	Ŋ * ∋	TWA	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
831124	212	Ρ	ג-ם	SWE	60	15	 +	_	-		80	15	-		
831124	213	В	シンスカート	NZL	60	15	- +	-	-		80	15	-		
831124	214	B7	*7&1)40F*	AUL	60	15	+		-		80	15	-	-	
831124	215	M		NZL-KOR	60	15	 +				80	15	-		
831124	216	М		NZL-KOR	60	15	- +	+	+ -	C	-80	15	-		
831124	217	М		AUL-KOR	60	15		-	-		80	15	-	-	
831124	218	н			60	15	 -+-		-		80	15	_		
831124	219	Н			60	15	 +		-		80	15		-	
831124	220	Н			60	15	- +		-		80	15	-		
831124	221	R		CHI	60	15	- +				80	15		-	
831124	222	R		CHI	60	15	+				80	15		-	
831124	223	S		I AAL	60	15				 	80	15	+	+	С
831124	224	S		JAP	60	15	+	-			80	15		-	

-40 -

表 34

< 28 15>

DATE	NO.AN	IIM	SITE	ORIG	ΙT	M	GL	LET	вот	TYP	Γ	M	LET	BOT	TYP
840113	225	Ρ	ŧŧ	TWA	60	15	 +				80	15			
840113	226	Ρ	ウテ゛	TWA	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	_
840113	227	Р	ג-ם	SWE	60	15	+	-			80	15		-	
840113	228	Р	い"う	IRL	60	15	 -+		-		80	15	-	-	
840113	229	B2	*7&I)1Jh	AUL	60	15	+		-		80	15	-	-	
840113	230	В	シンスカート	AUL	60	15	+	-			80	15	-		
840113	231	Μ		NZL-TWA	60	15	+				80	15	-	-	
840113	232	Μ		AUL-TWA	60	15	 +	-	-		80	15		-	
840113	233	M		NZL-TWA	60	15	 +-	-			80	15	-	-	
840113	234	Η			60	15	 ++				80	15	-		
840113	235	н			60	15	 +		-		80	15			
840113	236	Н			60	15	- +	-			80	15		-	
840113	237	R		CHI	60	15	 -4-				80	15			
840113	238	R		CHI	60	15	+				80	15	- 284-		
840113	239	S	<u> </u>	JAP 	60	15	 -+-				80	15			
840113	240	S		JAP	60	15	- +	-		ĺ	80	15	-		

表 35

<78°1 16>

DATE	NO.A	MIN	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	BOT	TYP	Т	M	LET	BOT	TYP
840120	241	р	5 <i>"</i> (۱	FIN	60	15	-+	-			80	15	 +		
840120	242	Р	558655	TWA	60	15	- +	+	-		80	15	-	-	
840120	243	Р	ג-ם	USA	60	15	+	-			80	15		-	
840120	244	Ρ	ウデ゛	TWA	60	15	- +	-	-		80	15	_	-	
840120	245	М		NZL-TWA	60	15	- +		-		80	15	-		
840120	246	M		NZL-TWA	60	15	- +		_		80	15	-	-	
840120	247	M		AUL-TWA	60	15	- +	-			80	15	-	-	
840120	248	В	シンスカート	AUL	60	15	-+		-		80	15		-	
840120	249	B7:	*7&11721	AUL	60	15					80	15	-	-	
840120	250	Н			60	15	- +	-			80	15	-		
840120	251	Н	<u> </u>		60	15	- +		-		80	15	-	-	
840120	252	Н			60	15	-				80	15	-	-	
840120	253	R	<u> </u>	CHI	60	15					80	15		-	
840120	254	R		CHI	60	15	- +				80	15			
840120	255	S		JAP 	60	15	 +-				80	15			
840120	256	S		JAP	60	15	- +				80	15			

comment : T=TEMP. M=MINUTES GL=GLUCOSE LET=LETHAL TOXIN BOT=BOTULINUM TOXIN

— 42 —

表 36

<78° f 17>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	T	Μ	GL	LET	BOT	TYP	T	M	LET	BOT	TYP
840127	257	Р	טפֿראַנע	T⊌A	60	15	+				80	15			
840127	258	Р	ג-םעת	SWE	60	15	+	_	-		80	15		-	
840127	259	Ρ	モモ	SWE	60	15	 +				80	15		-	
840127	260	Ρ	ה "ט	SWE	60	15	- +		_		80	15	_		
840127	261	B7:	*7&11721	AUL	60	15	- +				80	15			
840127	262	В	シンスカート	AUL	60	15	- +		-		80	15	_	-	
840127	263	М		NZL-TWA	60	1.5	 +·				80	15		-	
840127	264	M		NZL-TWA	60	15	+	_	-		80	15		-	
840127	265	M		AUL-TWA	60	15	-+				80	15			
840127	266	Н			60	15					80	15	_		
840127	267	Н			60	15	- +	-+			80	15			
840127	268	Н			60	15	-+-				80	15			<u></u>
840127	269	R		CHI	60	15	 .4.				80	15			
840127	270	R		CHI CHI	60	15					80	15			
840127	271	S	<u></u>	I AAL	60	15					80	15			
840127	272	S		JAP 	60	15					80	15			

表 37

< 7 % 1 8 >

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	BOT	TYP	Т	M	LET	BOT	TYP
840203	273	Ρ	л » э	FIN	60	15	 +		_		80	15		-	
840203	274	Ρ	ג-ם	USA	60	15	+	-			80	15	-	-	
840203	275	Ρ	シンタマラン	TWA	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
840203	276	Ρ	ה י ו	SWE	60	15	- +	-			80	15	-	-	
840203	277	В	ホッシレス	AUL	60	15	 ·+	-	-		80	15		-	
840203	278	В	シンズカート	AUL	60	15	- +	-			80	15	-	-	
840203	279	M		NZL-KOR	60	15	+				80	15			
840203	280	М		NZL-TWA	60	15	- +				80	15			
840203	281	M		NZL-KOR	60	15	+	-			80	15	-	-	
840203	282	Н			60	15	 +	-	-		80	15	-		
840203	283	Н	, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,</u> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		60	15	- +		-		80	15		-	
840203	284	Н	2 - 10 - 1		60	15	 +-	-	-		80	15	-		t
840203	285	R		CHI	60	15	-+	-			80	15			
840203	286	R		CHI	60	15	+		-	‡ 	80	15	-	-	
840203	287	S	<u> </u>	I AU	60	15	 -+-				80	15		-	
840203	288	S	· · " ·	JAP	60	15	 +		-		80	15		-	

- 44 -

表 38

< 28 1 19>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	T	Μ	GL	LET	вот	TYP	T	M	LET	вот	TYP
840210	289	Р	ג-ם	TWA	60	15	+	+		-		15			
840210	290	þ	い"う	DEM	60	15				-		15	 +	-+	B
840210	291	Ρ	ŦŦ	NOR	60	15	 +	_	_			15	+	-+	- B
840210	292	Ρ	<u>ウ</u> デ	TWA	60	15		- +		TET	80	15	- +	-	тет
840210	293	B7=	ŧア&ハイント»	AUL	60	15	+	-		– –	80	15			-
840210	294	В	シンズカート	NZL	60	15	- +	-	_	- -	80	15		-	
840210	295	Μ		TWA-NZL	60	15	+	-		- -	80	15	-		
840210	296	M		TWA-NZL	60	15	- +	-		- - -	80	15	. fr. 		
840210	297	M		KOR-NZL	60	15	 +	-	_	- 	80	15			-
840210	298	Н		 	60	15	+			- -	80	15		-	
840210	299	Н		 	60	15	- +	-		- -	80	15			
840210	300	Н			60	15				- 	80	15	_		
840210	301	R		CHI	60	15	- +			- -	80	15	⁻		-
840210	302	R		CHI	60	15					80	15	·		
840210	303	S		JAP 	60	15	 +				80	15			
840210	304	S		qal	60	15	 -4+			 	80	15			

— 45 —

表 39

<78°1 20>

DATE	NO.A	MIM	SITE	ORIG	Т	Μ	GL	LET	BOT	TYP	Т	M	LET	BOT	TYF
840419	305	Р	ג-ם	SWE	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
840419	306	Ρ	ŧŧ	TWA	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
840419	307	Ρ	ウデ゛	TWA	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840419	308	Ρ	כ "וו	DEM	60	15	- +	-	-		80	15		-	
840419	309	М		TWA&AUL	60	15	- +	-	-		80	15		1	
840419	310	М		T⊌A&AUL_	60	15	- +		_		80	15	-	-	
840419	311	M		TWA&NZL	60	15	+	-	_		80	15		-	
840419	312	Н			60	15	 +	-			80	15	-	-	
840419	313	Н	·····		60	15	- +				80	15	-	-	
840419	314	Н			60	15				t 	80	15			
840419	315	В		AUL	60	15	 +	 -	_		80	15	-	-	
840419	316	В		AUL	60	15	 -+	-		 	80	15			
840419	317	R		CHI	60	15		+			80	15		-	
840419	318	R		CHI	60	15	- +			 	80	15			
840419	319	S		AAL	60	15				 	80	15			
840419	320	S		JAP 	60	15	 +	·	-	 	80	15			- <u></u> `

- 46 -

表 40 <79°ィ 21>

<u> </u>	/														
DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	T	M	GL	LET	BOT	TYP	T	Μ	LET	BOT	TYP
840426	321	Ρ	ウテ゛	TWA	60	15	- +	-	-		80	15		-	
840426	322	P	ג-ם	T⊌A	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840426	323	Р	tt	S₩E	60	15	- +		-		80	15	_	-	
840426	324	Ρ	ב "וו	DEM	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840426	325	В	シンスカート	AUL.	60	15	- +	-	-		80	15		-	
840426	326	В	ホ゛ンレス	AUL	60	15	- +	_	-		80	15			
840426	327	M		KOR&AUL	60	15	- +	-	-	1	80	15	-	-	
840426	328	М		KOR&AUL	60	15	 +		-		80	15	-	-	
840426	329	М		KOR&AUL	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
840426	330	Н	ти	1	60	15	- +	-			80	15	-	-	<u> </u>
840426	331	Н		3	60	15	 +			1	80	15	-	-	<u> </u>
840426	332	Н			60	15	- +	-	-	i	80	15	-	-	
840426	333	R		CHI	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
840426	334	R	4	CHI	60	15	- +	-	-		80	15	 +	-	TET
840426	335	S		JAP	60	15	 +	-	_		80	15	-	-	
840426	336	S		JAP	60	15	 +		-	<u> </u> 	80	15	-	-	
				<u>_</u>											

表 41

<78 1 22>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	BOT	TYP	т	M	LET	BOT	TYP
840510	337	Ρ	市**シレス	SWE	60		- +	-	-	 		15	-		
840510	338	Р	ג-ם	TWA	60	15	- +		-	 	80	15	-		
840510	339	Р	IJ, 2	DEM	60	15	- +		-	 	80	15	-	-	
840510	340	Р	ג–םצּת	TWA∣	60	15	 +	-	-		80	15	-	_	
840510	341	M		KOR&AUL	60	15	- +		_		80	15	-	-	
840510	342	M		KOR&AUL	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840510	343	M		KOR&NZL	60	15	- +	_	-		80	15	-	_	
840510	344	н			60	15	+		-		80	15	-	-	
840510	345	н			60	15	- +	-	_		80	15	-	-	
840510	346	н			60	15	+	-	-	1	80	15	-	-	
840510	347	В	ホッンレス	AUL	60	15	- +	-	-		80	15	-		
840510	348	В	シンスカート	AUL	60	15	 +	-	-		80	15	-		
840510	349	R		CHI	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
840510	350	R		CHI	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840510	351	S		JAP	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840510	352	S		JAP	60	15	- +	-	-	l	80	15	-	-	

comment : T=TEMP. M=MINUTES GL=GLUCOSE LET=LETHAL TOXIN BOT=BOTULINUM TOXIN

- 48 -

表 42

<78°1 23>

23. 1 23						_									
DATE	NO.4	ANIM	SITE	ORIG	T	M	GL	LET	BOT	TYP	I T	M	LET	BOT	ΤY
840517	353	Ρ	ב "נו	TWA	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
840517	354	Р	ŧŧ	SWE	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
840517	355	P	ג-ם	DEM	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	_
840517	356	Ρ	ウデ゛	TWA	60	15	- +		-		80	15	-		
840517	357	M		KOR&AUL	60	15	 +				80	15	-	-	
840517	358	M		KORI	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840517	359	M		KOR&AUL	60	15	+	-			80	15	-	-	
840517	360	Н			60	15	- +	-	_		80	15	-	-	
840517	361	Н		f	60	15	 +	-		† 	80	15		-	
840517	362	Н			60	15	 +		-		80	15	_	-	
840517	363	В	シンスカート	AUL	60	15	 +	_	-	 	80	15			
840517	364	B7:	オア&ハイント"	AUL	60	15	-+				80	15		-	
840517	365	R		CHI	60	15	+	-	_		80	15	-	-	•••••
840517	366	R		CHI	60	15	 +	-			80	15		-	
840517	367	S		Jap 	60	15	+				80	15		-	
840517	368	S		JAP	60	15	- +			 	80	15	-	-	

comment : T=TEMP. M=MINUTES GL=GLUCOSE LET=LETHAL TOXIN BOT=BOTULINUM TOXIN

— 49 —

表 43

<78°1 24>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	T	M	GL	LET	BOT	TYP	Τ	M	LET	BOT	TYP
84524	369	Ρ	Ŋ*5	T⊌A	60	15	+	-	-		80	15		-	
84524	370	Ρ	ウテ゛	TWA	60	15	 +	-	-		80	15	_	-	
84524	371	Р	ג-ם	TWA	60	15	- +		-	-	80	15	-	-	
84524	372	M		KOL&AUL	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
84524	373	M		KOL&AUL	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
84524	374	M		KOL&AUL	60	15	 +	-		1	80	15	-	-	
84524	375	Н			60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
84524	376	Н			60	15	- +	-		1	80	15	-		
84524	377	Н			60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
84524	378	В	JJZD-1	AUL	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
84524	379	В	ホッシレス	AUL I	60	15	- +		-		80	15	-	-	
84524	380	Р	ג-ם	CAN	60	15	+	-	-		80	15	-		
84524	381	R		CHI	60	15	+	_	-		80	15	-	-	
84524	382	R		CHI	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
84524	383	S		JAP	60	15	- +		-		80	15	_	-	
84524	384	S		JAP	60	15	 +		-		80	15	-	-	

表 44

<78°1 25>

DATE	NO.	ANIM	SITE	ORIG	T	Μ	GL	LET	BOT	TYP	I T	M	LET	BOT	TYF
840531	385	Ρ	ウデ゛	TWA	60	15	- +	-	_	ļ	80	15	-	-	
840531	386	Ρ	ג-ם	DEN	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840531	387	Ρ	עב- "ר	DEN	60	15	- +	-	-		80	15	+ -	+ -	C*
840531	388	Ρ	ŧŧ	SWE	60	15	 +	+ -	-		80	15	_	-	
840531	389	В	シンスカート	AUL	60	15	- +	-	-	 	80	15	-	-	
840531	390	B	ホッシレス	AUL	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840531	391	Н			60	15	+	-	_		80	15	_	-	
840531	392	н	2		60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840531	393	Н			60	15	- +	-	_		80	15	_	-	
840531	394	M		KOR	60	15	- +	-	-		80	15	_	-	
840531	395	M		KOR	60	15	- +	-		 	80	15	-		
840531	396	M		KORI	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840531	397	R		CHI	60	15	 +	-		 	80	15		-	
840531	398	R		CHI	60	15	- +		_	1	80	15	-	-	
840531	399	S		JAP	60	15	- +	_ _	-		80	15	-	-	
840531	400	S		JAP	60	15	 +			+ 	80	15	-	-	

表 45 <79°1 26>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	ΙT	M	GL	LET	BOT	TYP	Т	M	LET	BOT	TYP
840607	401	Ρ	ウデ゛	T⊌A	60	15	+				80	15		-	
840607	402	Ρ	ŧŧ	SWE	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
840607	403	Ρ	כ ״ו	DEN	60	15	+	-			80	15	-	_	
840607	404	Ρ	ג-ם	DEN	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
840607	405	В	シンスカート	NZL	60	15	+	-	-		80	15	+ +	+ +	C* C*
840607	406	В	ŧŧ	AUL I	60	15	- +	-	-	 	80	15	-	-	
840607	407	M		KOR	60	15	+	-	-	 	80	15	-	-	
840607	408	M		KORI	60	15	+	_			80	15	-	-	
840607	409	M		KOR	60	15	- +		-	1	80	15	-	-	
840607	410	Н			60	15	- +				80	15	-	_	
840607	411	Н			60	15	- +	-	-	1	80	15	-	-	
840607	412	Н			60	15	- +	-	-		80	15	-		
840607	413	R	<u></u>	CHI	60	15	- +	-	-		80	15	-		
840607	414	R		CHI	60	15	- +	+ -	+ -	C,D	80	15	-	-	
840607	415	S		JAP	60	15	+		-		80	15		_	
840607	416	S		JAP	60	15	+	_			80	15	_	-	

表 46 <フダ1 27>

/x 1 20															
DATE	NO.	ANIM	SITE	ORIG	ΪT	M	GL	LET	вот	TYP	Γ	M	LET	вот	TYF
840614	417	Ρ	ŧŧ	CAN	60	15	 +	-	_		80	15	_	-	
840614	418	Р	ウテ゛	TWA	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
840614	419	Р	ג-ם	USA	60	15	 +	-	-		80	15	-		
840614	420	Ρ	כ "וו	DEN	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
840614	421	В	ŧŧ	AUL	60	15	- +	-	-		80	15	+ -	+ -	С
840614	422	В	シンスカート	NZL	60	15	-+	_	-	1	80	15	-	-	
840614	423	M	****	AUL-KOR	60	15	+		-	 	80	15			
840614	424	M		?-KOR	60	15	+		-		80	15		-	
840614	425	M		AUL-KOR	60	15	- +	-		1	80	15	_	_	
840614	426	Н			60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840614	427	Н			60	15	- +		-		80	15	-	-	
840614	428	Н	,		60	15	 +	-			80	15		-	
840614	429	R		CHI	60	15	 +		-		80	15	-		
840614	430	R		CHI	60	15	- +		-		80	15	-	-	
840614	431	S	· ···-	JAP	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
840614	432	S		ADL	60	15		-	-		80	15	_		

表 47

<78°1 28>

DATE	NO.A	NIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	BOT	TYP	T	M	LET	BOT	TYP
840621	433	P	ウテ゛	TWA	60	15	+	-	-	I	80	15		-	
840621	434	Ρ	い。う	DEN	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840621	435	Ρ	ג-ם	IRL	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
840621	436	Р	ŧŧ	SWE	60	15	- +	-	-		80	15	-		
840621	437	В	ŧŧ	AUL	60	15	 +	-	-	r 	80	15	-	-	
840621	438	В	シンスカート	NZL (60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840621	439	M			60	15	- +	_			80	15	-	-	
840621	440	M			60	15	+		-		80	15	-	-	
840614	441	M			60	15	- +	-	_		80	15	-		
840614	442	Н			60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
840614	443	Н	<u> </u>		60	15	+	-	-		80	15	_	_	
840614	444	н			60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840614	445	R		CHI	60	15	- +	-	_		80	15	-	_	
840614	446	R		CHI	60	15	+	-	-		80	15	_	-	
840614	447	S		JAP	60	15	 +	-	_		80	15	-	-	
840614	448	S		JAP 	60	15	- +		-		80	15		-	

表 48 <7% イ 29>

DATE	NO.	ANIM	SITE	ORIG	іт	M	GL	LET	BOT	TYP	ΙT	M	LET	BOT	TYF
840706	449	P	ウデ゛	TWA	60	15	+	+ +	-		80	15	-	-	
840706	450	Р	ŧŧ	TWA	60	15	- +	-	_		80	15	-	-	
840706	451	Ρ	ג-ם	DEN	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840706	452	Р	כיוו	FIN	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840706	453	В	ŧŧ	AUL	60	15	- +	-	-		80	15	_	-	
840706	454	В	シンスカート	AUL	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840706	455	M			60	15	 +	_	_		80	15	_	-	
840706	456	Μ		[60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840614	457	М	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840614	458	Н	- ***		60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
840614	459	Н			60	15	- +	-	-	+ 	80	15	-	-	
840614	460	н			60	15	- +	+ _	-	+	80	15	-		
840614	461	R		CHI	60	15	 +	-		1	80	15		-	
840614	462	R		СНІ	60	15	 +	-	-	+	80	15	-	-	
840614	463	S		JAP	60	15	 +	-	-		80	15		-	
840614	464	S		J AAL	60	15	 +		-		80	15	-	-	



<177-1>

(イワテー1)										_				
DATE NO.A	NIM	SITE	ORIG	T 	M	GL	LET	BOT	TYP	T	M	LET	BOT	TYP
8310-111001	С	イモノコシルヨウ	スー り ° ー	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
8310-111002	С	ミンチ	ቻ™በ°−Ւ	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
8310-111003	С	ミンチ	<u>ም</u> ግንግ - ኮ	60	15	+	_	-		80	15	-	-	
8310-111004	С	לבביזא	<u></u> ም"ነን₀ −ዞ	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8310-111005	Р	tt	לב "פוובט	60	15	- +	-	-		80	15	-		
8310-111006	Ρ	ミンチ	デ ゛ ነ)° ート	60	15	+	-	-	 	80	15	-		
8310-111007	Ρ	ミンチ	デリº-ト	60	15	 +		_		80	15	-	-	
8310-111008	Ρ	כוו	∂∃19, ∃¢	60	15	- +	-	_	 	80	15	-		
8310-111009	Ρ	ミンチ	ן טליב	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8310-111010	Ρ	2 上 *	לב «פובפ	60	15	- +	+	-		80	15	-		
8310-111011	Ρ	スネ	ຍອຸປຸຍ ອຸປຸ	60	15	- +	·	-	1	80	15	_		
8310-111012	В	ťť	לב *פוובט 	60	15	- +	-			80	15	-	-	
8310-111013	В	ミンチ	ן וילב 	60	15	- +		-		80	15	_	-	
8310-111014	Ρ	ミンチ	ן עלב ן	60	15	- +	+ -	_		80	15	-	_	
8310-111015	В	n. 2	טפט ליב "פועבים 	60	15	+	_	-	 	80	15		-	
8310-111016	С	ミンチ	 וולב	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	

表 50 <17テ-2>

<	1	7	テ	_	2	2
	•		-		~	

DATE NO.A	NIM	SITE	ORIG	Т	М	GL	LET	вот	TYP	Т	Μ	LET	вот	TYP
8310-111017	В	ウテ〝	לב "טובט	60	15	 +		-		80	15	-	-	
8310-111018	С	ミンチ	ולב	60	15	- +	-			80	15	-	-	
8310-111019	P	ミンチ	Z-1)° -	60	15	 +	-	_		80	15	-	-	
8310-111020	В		ולב	60	15	- +	_			80	15	-		
8310-111021	В		וולב	60	15	- +	_	-	1	80	15	-		
8310-111022	н		ולב ו	60	15	- +			 	80	15	-		
8310-111023	С	テパ"サキ	ל∈ "פוּבּפ	60	15	 +	-		 	80	15	_	-	<u>;</u> ,,,,
8310-111024	С	ሬネ	לב "פונפט 	60	15	- +		_		80	15			
8310-111025	٩		ווילב	60	15	- +	-	_		80	15	-		
8310-111026	С	ŧŧ	לב "פוובט	60	15	 +	-	-		80	15	_	-	
8310-111027	Р		ן עלב	60	15	- +	-	_		80	15	-		
8310-111028	R		-ת-א 	60	15	 +	-	_	 	80	15	-		
8310-111029	Ρ		メーカー(60	15	- +	-	-		80	15		-	
8310-111030	Р	צת	メーカー	60	15	+	-			80	15			
8310-111031	В	ל€4ג−ם	メーカー	60	15	- +	-	-		80	15			
8310-111032	P	ウインナヨウ	メーカー	60	15	- +				80	15	-	-	

表 51

<177-3>

DATE NO.AN	NIM	SITE	ORIG	т	M	GL	LET	вот	TYP	т	M	LET	вот	TYP
8310-111033	Ρ	አያ	メーカー(60	15	- +	-	-		80	15	-		
8310-111034	Ρ	<u>ን</u> ም	メーカー	60	15	 +	-	-	i	80	15	_	-	
8310-111035	Ρ		メーカー	60	15	- +		_		80	15		-	
8310-111036	Ρ	አያ	メーカー	60	15	- +	-	-		80	15		-	
8310-111037	Р	たもり いくヨウ	メーカー	60	15	 +		-		80	15	-	-	
8310-111038	M	ג-ם	AUL,メーカー	60	15	-+	_	-		80	15	-	_	
8310-111039	Ρ		メーカー	60	15	- +	_	-		80	15	-	-	
8310-111040	С	+ホネ ミンチ	メーカー	60	15	 +		-		80	15		-	
8310-111041	Ρ	ג-םצת	メーカー	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8310-111042	Ρ	ג-ם	メーカー	60	15	~ +	-	_		80	15		-	
8310-111043	Ρ	ミンチ	メーカー	60 	15	~ +	-	-		80	15			
8310-111044	Ρ		メーカー	60	15	- +		-		80	15	-	-	
8310-111045	Ρ	ŧŧ	メーカー	60	15	- +	-			80	15			
8310-111046	Ρ	ג–ם	メーカー	60	15	- +				80	15			
8310-111047	Ρ	דמאב ופטל	メーカー	60	15	 +				80 	15	 +		
8310-111048	Ρ	亦亦	メーカー	60	15	- +				80 	15			

表 52

くイワテー4>

DATE NO.A	MIN	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	BOT	TYP	Т	M	LET	BOT	TYP
8310-111049	M		AUL・メーカー	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
8310-111050	В	トリミンク*	メーカー	60	15	+	-	-		80	15	-	-	
8310-111051	Р	ג-ם	メーカー	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
8310-111052	Ρŧ	モホ° ンレスヨウ	メーカー	60	15	+	-			80	15	-	-	
8310-111053	М		メーカー	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8310-111054	Р	ג-ם	CAN,メーカー	60	15	- +		-		80	15	-	-	
8310-111055	В	モモ , レイトウ	メーカー	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8310-111056	Ρ		メーカー	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8310-111057	Рл	シラヨウコメカミ	メーカー(60	15	- +	-			80	15	-	-	
8310-111058	Ρ	スネ	-ת-ג 	60	15	- +	-	-		80	15		-	
8310-111059	Ρ	カタハッラ	メーカー	60	15	- +	-			80	15	-	-	
8310-111060	Р	ታያ	メーカー	60	15	- +	-	-	 	80	15		-	
8310-111061	Ρ	レイトウ	メーカー	60	15	 +		-		80	15	-		
8310-111062	Ρ		メーカー	60	15	 +	-	-	 	80	15			
8310-111063	Ρ	ťť	メーカー	60	15	- +	-		 	80	15	_		

表 53

<7+* -1>

												_		
DATE NO.A	MIM	SITE	ORIG	T	M	GL	LET	BOT	TYP	Т	M	LET	BOT	TYP
8401-031101	В	スキヤキ	וילב	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8401-031102	В		וילב ו	60	15	 +	-	-		80	15		-	
8401-031103	В	ג-ם	ן וולב	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
8401-031104	В	7444	וולב	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8401-031105	В	フ゛ "#゛゚リ	ן וולב	60	15	 +	-	-		80	15	_	-	
8401-031106	В	ታራ	וולב	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
8401-031107	В	ፖカミ	וילב	60	15	 +		-		80	15	-	-	
8401-031108	В	ヒレ	וילב	60	15	- +	_	-		80	15	-	_	
8401-031109	В	כ ‡לי ב	\ל פ °י⊍א	60	15	- +				80	15		-	
8401-031110	В	כ‡לב	ליב "שא 	60	15	 +	+	-		80	15	+	?	
8401-031111	В	 כ‡לב	ל ב * ⊍ו	60	15	- +				80	15	-		
8401-031112	B	<u>ה</u> ליב	トシ゛ョウ	60	15	- +	-	-		80	15	-		
8401-031113	В	ט‡לב	トシ゛ョウ	60	15	- +	_			80	15	-	-	
8401-031114	В	טּדָּרָב	೬್` ∋ರ	60	15	- +	+	_		80	15	-	-	
8401-031115	В	ט‡לב	¢פ «פֿו	60 	15	- +	-	-		80	15		-	
8401-031116	В	כ‡לב	トシ ヨウ	60	15			_		80	15	_		-



表 54

< X ‡*1	(-2>
----------------	------

DATE NO.AM	MIM	SITE	ORIG	T	M	GL	LET	BOT	TYP	T	M	LET	BOT	TYP
8401-031117	В	ט‡לב	לב "פא	60	15	- +	_	_		80	15	-	-	
8401-031118	В	ט‡לב	לב ^{יי} של 	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8401-031119	В	አያ	לב "טּל 	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8401-031120	В	አያ	לב "פֿל 	60	15	 +	-	-		80	15		-	
8401-031121	В	አደ	לב ^{יי} של 	60	15	- +	-	-	i	80	15	-	-	
8401-031122	В	አያ	רפ "פא 	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8401-031123	В	ታያ	トシ [、] ョウ	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
8401-031124	В	ታሪ	トシ [®] ヨウ 	60	15	 +	-	_		80	15	-		
8401-031125	В	ታያ	トシ゛ョウ	60	15	- +	+			80	15		-	
8401-031126	В	አያ	トシ゛ョウ	60	15	 +	-			80	15	-	-	7
8401-031127	В	አደ	トシ゛ョウ	60	15	 +				80 	15	-		
8401-031128	В	ክዎ	トシ゛ョウ	60	15	 +	-	-		80	15			
8401-031129	Р	ג-םצל	וילב	60	15	 +	-	-		80	15			
8401-031130	Ρ	<u>л</u> –2	ולב	60	15	+				80 	15		 	
8401-031131	Ρ	ג-ם	ולב	60 	15	 +				80	15			
8401-031132	Р	tν	ולב	60 	15					80	15			

- 61 -

表 55 <ス**キ**゙ィー3>

DATE NO.A	MIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	BOT	TYP	Т	М	LET	BOT	TYP
8401-031133	Р	い"う	וולב	60	15	- +	-			80	15	-	-	
8401-031134	Ρ	カタロース	ולב	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8401-031135	Р	ג-ם	ווילב	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8401-031136	Р	ג-ם	ולב	60	15	+	-	-		80	15	-	_	
8401-031137	Ρ	ג-םצל	\לפ י י⊍א	60	15	- +	_	_	1	80	15	_	-	
8401-031138	Р	ג-םצל	ליב " של	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8401-031139	Р	ג-סעל	לב "פל 	60	15	- +	_	-		80	15		-	
8401-031140	Р	ג-םצל	רב "פל 	60	15	- +	_	-		80	15	-	-	
8401-031141	С	<u></u>	 עלב 	60	15	- +	-			80	15		-	
8401-031142	С	ŧŧ	ן עלב ן	60	15	 +	-	-	† 	80	15	-	-	
8401-031143	С	ブツキ ゙リ	 עלב 	60	15	- +	-	-		80	15		-	
8401-031144	С	NU	וילב	60	15	- +	-	-		80	15		-	
8401-031145	С	ヒナ	עלב 	60	15	 +	-	-		80	15	-	-	
8401-031146	С	ヒナ	ו וילב ו	60	15	- +	_	-		80	15	-	-	
8401-031147	С	ヒナ	עלב 	60	15	- +		-		80	15	-	-	
8401-031148	С	ヒナ	 וילב 	60	15	- +	_	-	 	80	15	-	-	



表 56

<Z#*1-4>

DATE NO.A	MIM	SITE	ORIG	Т	M	GL	LET	вот	TYP	Т	Μ	LET	вот	TYP
8401-031149	С	ŧŧ	וילב	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	
8401-031150	С	ŧŧ	ן ויליב 	60	15	- +	-	-		80	15	-	-	

comment : f7,4,4,9,9,1,3,3,3,4,4,4,1,3,3,4,4,4,/4

